

## 令和3年度 第1回四万十市子ども・子育て会議 議事録

【日 時】 令和3年10月25日(月) 午後6時00分～午後7時25分

【場 所】 四万十市役所6階 議員協議会室

【出席委員】 14名

熊崎委員、亀井委員、西村委員、伊與田委員、岸本委員、刈谷委員、久保委員、前田委員、黒萩委員、福留委員、浅能委員、山崎委員、山崎委員、宮本委員

【欠席委員】 1名

岡委員

【事務局】 13名

子育て支援課：武田、田村、名本、宇都宮、池田、阿部、松永

健康推進課：渡辺、川村 保健課：谷岡 福祉事務所：二宮

学校教育課：中脇 生涯学習課：安岡

【要 旨】

### 1 開会

#### (1) 課長挨拶

子育て支援課長より挨拶。

#### (2) 委嘱状交付

新任委員へ委嘱状を交付(机上への配置)

#### (3) 出席者自己紹介

出席委員及び事務局職員の自己紹介。

#### (4) 会議の成立

子ども・子育て会議条例第6条第2項に基づき会議の成立を報告。

### 2 議事等

#### (1) 会長及び副会長の選任について

- ・条例第6条では仮議長が議事の進行をすることになっているが、スムーズな進行のため事務局で進行することを提案。

～異議なし～

- ・会長の選任：自薦、他薦なし。前回会長の岡委員を会長に推薦する事務局案を提示。

～異議なし～

- ・副会長の選任：自薦、他薦なし。前回副会長の宮本委員を副会長に推薦する事務局案を提示。

～異議なし～

- ・子ども・子育て会議条例第6条第1項に基づき宮本副会長に進行を交代。

- ・副会長挨拶

#### (2) 第2期四万十市子ども・子育て支援事業計画について

##### 【主な説明内容】

- ・新任の委員も多いので、協議いただく前に「子ども子育て支援事業計画」と「子ども子育て会議」について説明する。
- ・「計画」は、子どもに関する事、子育て支援に関する事について、市、市民、関係機関が共に進んでいくべき目標、目的を記した計画である。第1期の計画が終了する令和元年に見直しを行い、現在、計画期間が令和2年度から令和6年度の5年間である2期目の計画が進んでいるという状況である。
- ・「会議」は、計画に示された施策を市だけで進めていくのではなく、市民・団体や事業に携わっている方々のご意見を組み込み進めることができるよう、市内の関係機関の代表に委員となっていただき、地域の子ども及び子育て家庭の実情を踏まえた計画となるように意見を頂いている。また、市が計画に沿った施策を実施できているか調査・監督をしていただいている。

①計画の指標の設定について

- ・計画は5つの基本目標から成っているが、その中で2～5の4つの基本目標に大項目として合計17項目。大項目17に対して中項目が55あり、その55の中項目をさらに細分化して102の小項目に分割されている。小項目について、計画には文章しか書いていないが、昨年度のこの会議において、目標となる数値を示し、その数値目標の達成度を調査し管理していくべきとの意見を頂いた。関係課と協議の結果出来た表が、配布資料①-2である。前回の会議の時に協議いただいた素案は、指標項目が定まっていないものや、基準となる令和元年度の実績が把握出来ていないものも含まれていたが、今回は全て穴埋めをしている。
- ・指標の検討をしていく上で文言や提示していた目標数値を変更した項目もあるので資料①-3に抜粋している。変更箇所をご確認いただきご意見を頂きたい。

②アンケート調査の結果について

- ・前回の会議で指標項目を提案した中で、数値ではなく「実施」や「検討」など漠然としたものが含まれおり、それでは進捗管理ができないと指摘を頂いた。具体的に市民にどこまで浸透したかチェックが必要だというご意見であったので、いくつかの項目については、市民の皆さんにアンケートをとってそのアンケートの結果から進捗管理を行うこととした。アンケートの結果は報告書としてまとめている。
- ・アンケートは令和3年4月に実施した。市内の全ての保護者というのは事務量も多くなり、また毎年同じアンケートに回答するのは保護者の方も嫌な思いをする可能性が懸念されたので、年齢・学年を絞って実施した。未就学児については、年中組4歳児クラス。小学校は4年生。保育施設及び小学校に協力を頂き、配付・回収をしていただいた。この方法で毎年実施したいと考えている。今年受けた方は来年はアンケートを受けない。単純比較は出来ないが、一定の年齢を絞った上でどこまでピンポイントに情報が伝わっているかがこの調査で分かるのではないかと思う。この調査結果の全てを指標に反映させている訳ではなく、市として確認しておきたい保護者ニーズの確認もできる項目を盛り込んだアンケートとなっている。

③令和2年度の実績及び令和3年度の見込みについて

- ・資料①-2には2年度の実績と3年度見込みの数値を入力している。目標値を100%クリアしたものは青色を付け、達成率の高い50～99%は白色。実施はしているものの達成率が49～1%と低いものは黄色。全く実施が出来ていない、実績が0というものはピンクという形で色分けをしている。特に3年度もピンクというものについては、備考欄に現状を記載している。
- ・これらを集計したものが資料①-1。大項目ごとに集計し合計欄に全102項目における件数を集計している。2年度は、100%を超える達成が47件、50%以上が20件、50%未満が12件、未実施が24件であった。3年度の見込みについては、達成見込みが59件、50%以上が19件、50%未満が13件、未実施が11件となっている。達成が増え、全体的には改善傾向がみられ、5割を超える項目で達成となっていく見込みだが、1割程度の項目については実績0になっている。まずは0から一歩前に進むことを目標としていき、達成率の低いものについては、それぞれ上げていくという事を各担当課で取り組んでいきたいと考えている。

■出された意見等

委員	団体の代表になった関係で委員となった。以前も委員になったことがあるが、団体の会長の任期はどれも1年で変わっていく。その際に、どこを引き継ぐかが重要。前任者から話を聞いてなく事前情報が無い状態で委員になると、その団体の意見を取りまとめた立場での発言ができない。出来ることであれば、何かしら事前に各団体に今後協議する内容を知らせてほしい。各団体で話し合った内容を持って来るのが、この会議に参加する一番の意義ではないかと思うので、そこを検討いただきたい。
事務局(子育て支援課)	引継ぎに関する部分については、我々もどうすれば情報を持った状態でこの会議に参加していただけるか考えている部分である。今ほど頂いた意見も参考にさせて頂きながら上手く情報が共有出来るように取り組んでいく。

委員	<p>各委員の任期が、会長であれば1年や2年といった短い期間なので、どうしても継続が難しい。私の場合は、こちらの会が始まった当初から委員をさせてもらっているが、それでも十分理解できていない事もあり、どう質問したらよいか分からないという状態。私は、この会議が開催される毎に所属団体のメンバーに報告しているが、実際市の中でこういった改革がされているのかというのを各団体に持ち帰り伝えるのは難しいことだと思う。</p>
事務局(子育て支援課)	<p>本日の会議資料は中身が膨大であり、今日この場で見ていただきご意見を頂くというのは、かなり困難な状況だと思う。ご指摘いただいた事については、事務局のこの会の進め方についても問題がある。資料は1週間前には委員の皆さんの元に届け、会次第も付け、協議していただきたい内容を理解していただき、質問される内容も構えていただいた上で会に出席していただく事が理想だと思う。その点については早速改善して、次回からは事前に資料もお届け出来るように努めたい。そうする事により、委員が変わる場合にも、引継ぎ面に関して可能になるし、意見を集約してもらう事などもお願い出来るかと思う。本日は失礼な形になってしまった事についてはお詫び申し上げます。この内容については、今日この場で意見というよりも持って帰って見ていただいて、次回の会議でご意見をいただければと思う。</p>
委員	<p>進捗状況管理の中で、学校の単位で目標を定めているものがある。これは小中学校の単位なのか、中学校のみの単位なのかが分からない。それとも、高校まで全て含めた単位なのか。小項目の26番の思春期の健康づくりという所で、自分も父親としての立場で息子には説明が出来るが、娘に対してどうやって説明するのかというのを、ヤキモキしながらやっている。こういったアンケートをすることは聞いた事がなく、こういった形で学校に配布しているのか。全体的に学校という所を、どこを基準にしてやっているのか、思春期のところで言えば中高生のという所も入っていると思うが、高校生にもアンケートの依頼をかけているのかどうかという所を教えていただきたい。</p>
事務局(子育て支援課)	<p>全体としてどこの学校を対象にしているのかという部分は、主には中学校までを含む全ての子どもという認識で考えている。特別に小学校、中学校という記載をしていない場合は、小中学校両方を含んでいる。ただし、高校については、県の管轄になり、我々では対応できないため、この計画の中で目標として掲げている数字には高校は入っていない。しかし、ボランティアの受入など学校で取り組んでもらう内容ではなく、こちら側が受け入れる側の立場となるケースの場合には、高校生等も対象としている部分もある。一概に中学校までとは言いきる事はできない。あくまで学校に取り組んでもらうものは、小学校と中学校両方が含まれていると考えていただきたい。意見いただいた26番の思春期という部分では、ターゲットとしては中学校になるかと思う。ここは、アンケートという形ではなく学校から授業の中で取り組みたいので保健師さんに来てほしいとか、助産師さんに来てほしいとかという問い合わせを頂いたら実施が出来るというスタンスになっている。呼びかけの強化というのも必要だと思うが、現状としては、学校からの要請待ちである為に実績が0となっている。この部分には新型コロナの影響もあると思う。外部の人間が学校に入ることに躊躇する部分があるので、コロナが落ち着いた後にしっかりと取り組むことが重要であると思う。</p>
委員	<p>中学校の再編があったと思うが、今どんな形でどこまで決まっているのか。下田中学校はもう再編は含まれないという事だろうか。また、ゆくゆくの小学校の再編に関しても改めて教えて頂きたい。以前の資料は持っているが、そこから変更等が無いのか確認もさせて頂きたい。</p>

事務局(学校教育課)	<p>四万十市においては、平成31年3月に第二次小中学校再編計画というものを定め、中学校は当時11校あったものを3校に再編するという計画を立てている。小学校については14校あったが、地域への影響等を考えた上で、中学校を大規模に再編していく中で、小学校は一度に再編する事はしない。保護者の皆さん、地域の皆さんから再編したいという話が出てきた時のために、行く先だけを決めているような状態。今回の進捗状況の37番の項目の「小中学校再編計画における配置計画の進捗」としては、令和元年度は25校あるものを、令和6年度までに中学校を3校にし、小学校は14校のまま置いておくという所で、17校の目標としている。実際には、今年4月に蕨岡中学校、大川筋中学校、この2校が既に先行して中村中学校に再編しており、川登小学校は全校児童が最終的に5人になっていたことから、地域、保護者の皆様から要望を頂き、中村小学校に再編をさせて頂いた。令和4年度においては、更に中学校の再編が進む予定で、中村中学校校区で、後川中学校と下田中学校。また、中村西中学校の校区では、中筋中学校、東中筋中学校、八束中学校。この5校が令和4年4月に再編していくという形になっている。令和4年4月の時点で残る中学校は、中村中学校と中村西中学校、西土佐中学校の他に再編合意をまだ頂いていない大用中学校。また、下田中学校は2年間は期限付きで存続をし、令和6年4月に中村中学校に再編されていく予定である。大用中学校については、今後も学校再編計画に基づき再編できるよう、地域の皆様と協議を継続させて頂く。</p>
委員	<p>自分はボランティア団体で四万十市の未就学園児を対象にお手伝いをさせて頂いている。団体は2000年の12月に出来て、今年で21年目になる。出来た当初は、お母さん方の希望と、行政の意向がマッチして、行政の支援もあり続けられた。計画の目標に「子育て支援のネットワークづくり」「地域における子育て支援ネットワークの形成」「子育てサークル・世代間交流の促進」とある。四万十市で子育てをしているお母さん方が不安に思わないとか、四万十市で子育てをして良かったと思えるよう、繋がりが持てるような支援を望んでいるが、そこに対する四万十市の考えをお聞きしたい。仕事でやっている訳ではなく、子どもが好きなメンバーが集まってボランティアをしている。メンバーの高齢化もあり、継続が難しい状態になってきている。それについても考えをお聞きしたい。また、支援のネットワークの形成という事で、いろんな形で新しいボランティア団体が子どもに関する取り組みを行っているが、私達は交流をして横の繋がりをもちたいと思っている。市が先導してネットワークづくりをやってもらえるような仕組みは作れないものか。</p>
事務局(子育て支援課)	<p>ネットワークづくりの件に関して、多くの団体が活動をして頂いているので、そういった方に集まって頂いて、市も入り意見交換をする場を検討したいと思う。昨年度、市長との懇談という形で一般市民も含めた形で行い、意見を聞く場を設けた。今年度も継続する予定なので、そこへ各団体の代表者の方に参加して頂き、各団体が集まる事で課題等を出し合う場にはできないか検討したいと思う。</p> <p>また、ボランティアの高齢化の問題については、市も認識している。長い歴史のある事業をどう残していくか、引き継いでいくか、新しい団体も出て来ているので団体の育成という意味も含めて、出来るだけ支援できるよう検討させて頂く。</p>

### (3) 第2期四万十市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて

#### 【主な説明内容】

- ・現計画は令和2年度から令和6年度の5年間での計画である。中間年となる令和4年度に見直しを図る。
- ・それに向けて、手元にある資料を持ち帰り頂き、方向性などにおかしな部分がないか、国の流れが変わって取り組み方法が変わっているのではないかなど、専門的に関わっている分野についてご意見があれば、後日行う会議で出して頂きたい。
- ・今後のスケジュールは、今年度の2回目の会議を年明けの1月末か2月上旬に行い、そこで

ある一定の意見を頂き、来年度の1回目の会議を今回よりも早い時期に行い、今年度2回目の会議で頂いた意見をベースとした改正案を示させて頂きたい。それを持って帰ってもらい、関係団体と協議を頂いた上で意見を頂いたものを、中間見直し後の案として年度末に確定をしたいと考えている。

- ・4年度の当初より事業内容が変更になる場合や、やっていたものを止めるようになるとかいった事があれば、2回目の会議の時に計画の一部見直しという形で、小規模なものだけは先行して見直ししたいと考えている。

～質問・意見なし～

#### (4) 事業の実施状況について

##### ①子育て応援フェイスブックについて

###### 【主な説明内容】

- ・昨年度の会議で、子育て応援フェイスブックを始める予定だとお伝えし、ご意見を頂きながら準備をしてきた。ようやく1回目の投稿を6月5日に行った。その後、10月23日までの実績として、フェイスブックページ自体にいいね！を押してくれた方が現在58名。投稿件数77件。投稿を1回でも見た人の数であるリーチ数は5,288件。一つの記事を約69名の方に見ていただいている。尚、1日当たりのリーチ数は、投稿の有無によりバラツキはあるが平均25件となっている。
- ・記事の平均リーチ数については少し物足りない、もう少し頑張って周知をしなければいけない、そして、子育て応援フェイスブックだけでは限界があるのではないかと感じている。
- ・投稿者の内訳に関して、役所内の各課に呼びかけをしているので、それぞれの課の件数を記載している。その中でも、図書館が非常に多い。毎週木曜日は図書館の投稿日として、赤ちゃん向け、幼児向け、小学校低学年、小学校高学年、保護者の方という順番でピックアップして頂き、一つずつ本を紹介している。図書館はずっと協力して頂いているので、17件というように多くなっている。
- ・参考に、人気記事のトップ5を抜き出した。1位の「ファミサポお預かり専用部屋」が300件を超えており、この5つ全てに言える事は、シェアという、市が投稿した記事を見た人が自分の知り合いに紹介するような形をとって頂いた場合は、100件を超える伸びを見せている。少ないものはフォロワー数が58名なので50件前後になってしまうが、シェアをして頂く、多くの方に見て頂くという努力をしていかなければいけないと思っている。

～質問・意見なし～

##### ②具同保育所の建設計画について

###### 【主な説明内容】

- ・今の具同保育所が昭和50年7月に建設をされており、築45年を経過している。その関係で、経年による機能劣化等が著しい為、移転改築を行い令和5年度中の開所を目指している。
- ・概要について、場所は現保育所とその北側の土地を活用した移転改築。面積は現在の約2,200㎡に北側の土地の約1,800㎡をプラスして、合計で4,021㎡の敷地面積になる予定である。施設は、今と同じ2階建て、保育室8、調理室1、職員室1、遊戯室1、医務室1、休憩室1、そして新たにプールと送迎用駐車場を整備する予定。新具同保育所施設配置図(案)という事で、資料③に平面図の案を載せている。
- ・工事スケジュールは現段階の案。令和3年度の1月から設計に入り、令和4年度秋頃から建築主体工事に入り、令和5年度の春に新しい建物に移転。令和5年度の夏から現在の保育所を解体し、駐車場や園庭を新しくしていくという予定で現在進んでいる。
- ・定員は、現在と同じ2歳児30名、3歳児から5歳児180名の合計210名の定員を計画している。資料には、これまでの児童数の推移を掲載しているのでご覧いただきたい。

#### ■出された意見等

委員	今の具同保育所が建っている所は、園庭になるのか。
事務局(子育て支援課)	後ろ側の土地を購入してそこに園舎を建て、今の具同保育所が建っている所が園庭になる。現在の園庭も加えて、これまでより広い園庭になる予定である。

③ホームページのリニューアルについて

【主な説明内容】

- ・四万十市のホームページがリニューアルをするべく見直しを図っている。そのリニューアルの中で、これまでなかった子育てに関する情報を集約したサイトを独立させて作るという事を、ホームページ担当の企画広報課と協議している。全国の市町村にはそういうスタイルをとっている所が多い。
- ・企画広報課から提案されているスタイルが資料④。特徴は、目的別、例えば「出産」というキーワードに絞ってそこをクリックすれば出産に関する情報が全て見える。検索項目は検討中だが、目的別と年齢別にそれぞれ分類をしたものにしたいと考えている。
- ・まだ素案の段階なので是非ご意見等頂いて、実際使う方が使いやすいという形にしたい。今回は情報提供という事になるが、ご意見等頂ければ、頂いた意見を元に今後の協議の中で提案していけると思っている。今日でなくても良いので、気が付くことがあればご連絡いただきたい。

～質問・意見なし～

(5) その他

■出された意見等

委員	<p>日頃ファミリーサポートセンターを運営させて頂いている。自分達が団体を立ち上げた当時を振り返ってみると、四万十市で子育てをして良かった、四万十市の環境だからこそ子ども達が育って、大きくなってまた四万十市に帰ってきたいというような所になればいいなという想いが出発点であった。今はまだ3年目でファミリーサポートセンターも浸透してない面もあるが、だいたい学校や保育園の先生に知って頂き「やってみたいけど、どんなとこやろう？」という声が増えてきた。気軽に児童館にも来て頂きたいのと、職員もいろんな場に出向く事も出来るので、声をかけていただきたい。せっかく山川海があるので、特徴のある子育て環境を作りたいと考えている。</p> <p>子育ての期間はあつという間だと思う。四万十市はこの自治体の規模にしては不登校が多いという事も聞く。要因は様々かもしれないが、小さな頃にゆとりをもって子育てができれば変わるかもしれない。ぜひ、かしこまってではなく、皆さんと「こういう風な四万十市になればいいな」という話をしていきたい。</p>
副会長	<p>ファミリーサポートセンターの皆さんもご苦勞をされて活動されているとお聞きしている。私は現在口鴨川に住んでいるが、ここ5～6年子どもの声が一切聞こえない。どこへ行ったのかと思ってしまう。これは四万十市全体の問題で、町の中にくると子どもの声が聞こえたりもするが、段々と子どもがいなくなっているというのが現状である。お互いが横の繋がりを持って、問題を共有しながら解決していく。自治体任せだけではなく自分達も出来るところは担っていくという視点が大事だと思う。</p> <p>それでは、最後に事務局からの事務連絡をお願いしたい。</p>
事務局（子育て支援課長）	<p>今回の会議については、年明けの1月下旬もしくは2月上旬頃に出来ればと考えている。今回のように事前に調査をさせて頂いて、少しでも多くの方に参加して頂けるような日を設定したいと考えている。今回、当初は昼間の開催を計画して案内したが、参加できる委員が過半数の8人に満たないという状況となってしまう、夜に設定しなおした事でほぼ全員の参加が頂けた。次回も夜の開催というのも選択肢の一つとして検討しながら準備を進めたい。</p>
副会長	<p>第1回四万十市子ども・子育て会議の全ての日程はこれにて終了する。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。</p>